



TITLE:

露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(九)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(九). 經濟論叢 1918, 6(6): 834-853

ISSUE DATE:

1918-06-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127388>

RIGHT:

京都帝國大學法學大科大學

經濟論叢

第六卷 第六號

大正七年六月一日發行

論說

生命保險業者ノ保健運動

法學博士

財部 靜治

植民地統治ノ形式ニ就キテ(一)

山本美越乃

分業ヲ論ジテ福田博士ノ教ヲ請フ

文學士

高田 保馬

所得稅ニ於テ所得ノ統一課稅(二完)

法學博士

神戸 正雄

職工組合論(三)

法學士

河田 嗣郎

露國ノ新まりるくす主義(一)

法學士

米田庄太郎

諾威ノ海運(二完)

法學士

小島昌太郎

時事問題

米價ノ調節

法學博士

戸田 海市

雜錄

元祿年間貨幣改鑄ノ由來

法學士

藤田 元春

戰費トハ何ゾヤ

法學士

小島昌太郎

赤穂ノ鹽田(一)

法學士

本庄榮治郎

露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ

特徵ト最近ノ大革命 (九)

米 田 庄 太 郎

第一節 社會進化ト資本主義

(七) 新まゝるくす主義 (1)

露國ニ於ケル新まゝるくす主義或ハ修正派ノ起リシ原因及ビ事情ニ就テハ、「客觀主義」ノ始メニ論述シタカラ、茲ニハ其ノ代表的思想家トシテ、すつるーげえ及ビつーがん・ばらのうすきーノ説ノ大要ヲ直チニ説述スルコトトスル。

すゝるーげえ Peter Struve

ふれはのうが「露國まゝるくす主義ノ父」ト稱セラルルニ對シテ、すつるーげえハ「露國ノ新まゝるくす派及ビ修正派ノ父」ト稱セラレテ居ル。彼ノ生涯及ビ著作ハ露國ニ於ケルまゝるくす主義運動及ビ革命運動ノ發達ト、甚ダ密接ナル關係ヲ有スルモノニシテ、其等ノ方面ニ就テ彼ヲ研究スルコトハ甚ダ興味アル問題デアルガ、茲ニハ其ノ暇ガナイカラ、直チニ彼ノ思想ノ一般ヲ論述スルコトトシタイト思フ。

今すつるーげえノ思想ノ發達ハ三ツノ時期ニ別タレル。一ハ正統派まゝるくす主義ノ時期、二ハ

正統派よりくる主義ヨリ修正派新よりくる主義ニ移レル時期、三ハ全ク社會主義ヲ去ツテ自由主義ニ移リ、理想主義ヲ高調シテ社會學的主觀主義ヲ唱ヘツツアル輓近ノ時期デアル。而シテ第一期ノ代表的著作ト認メラルルモノハ「露國ノ經濟的發達問題ノ批判的考察」(露文、千八百九十四年出版)ニシテ、第二期ノ代表的著作ト見做サルハ「よりくる社會發達論」(獨逸文ノ論文、Archiv für Sozialgesetzgebung und Statistik, 1899)、第三期ノ代表的著作ト見做シ得ラルハ「現代露國ニ於ケル思想ト政治」(露文千九百六年出版)及「知識階級ト革命」(露文ノ論文、千九百八年出版)等デアル。然ルニ現代露國ノ社會思想發達上ニ於ケルすつる一うえノ意義ハ、正統派よりくる主義ヨリ修正派新よりくる主義ヘノ轉移ヲ、他ニ卒先シテ唱ヘタ點ニアルノデアルカラ、茲ニハ主トシテ第二期ノ彼ノ思想ヲ論究シ、而シテ第一期及ビ第三期ノ彼ノ思想ニ就テハ簡單ニ一言スルニ止メテ置ク。

却說第一期ニ於ケルすつる一うえノ思想ニ於テ特ニ注意ス可キハ、偉人ヲ以テ社會進化ニ於ケル重要因素ト見ル説、及ビ露國ノ特別ナル非資本主義的進化ヲ主張スル説、ツマリ人民主義及ビ主觀主義ノ根本思想ヲ深刻ニ批評シ、之ヲ排斥セントセル方面デアル。

すつる一うえノ考フル處ニヨレバ、偉人ハ只社會團體ノ生産物ニ外ナラヌ以上、之ヲ以テ社會進化ノ一因素ト見ルハ穩當デナイ。總テ箇人ハ單ニ一ノ形式的表現ニ過ギズシテ、其ノ内容ハ社會團體ヲ考察スルコトニヨリテ確カメラレルモノデアル。然ラバ社會團體トハ何ゾヤト云ヘハ、是レツマリ箇人間ノ種々様々ナル相互作用ノ總體ニシテ、慣習、法律、性格、道德及ビ宗教的觀念

等ニ於テ客觀的ニ表現サレテ居ルモノデアル。而シテ社會團體間或ハ社會階級間ノ鬭爭ガ即チ社會進化ノ根源デアル。箇人ハ其ノ屬スル社會團體ヨリ之ヲ切り離セバ、無デアル、零デアル。故ニ箇人ノ觀念ハ團體的事實ヨリ離レテハ、社會進化ニ於ケル因素トシテ何等ノ意義モ有スルモノデナイ。此ノ如ク箇人及ビ觀念ガ、社會進化ノ因素トシテ何等ノ意義ヲモ有シナイモノナル事ヲ理解スルハ、是レ實ニまゐるくす主義ニ入ル門デアル。又右ノ理ヲヨク會得スレバ、まゐるくす主義ヲ承認セザルヲ得ナイノデアル。尙ホ國家ノ創造の力ヲ信ズル説モ亦穩當デナイ。國家ハツマリ支配階級ニヨリテ管理セラレ、又彼等ノ利益ヲ促進スル爲メノミニ其ノ行動ヲ限ル處ノ「秩序ノ爲メノ編制」ニ外ナラヌ。而シテ其等ノ利益ト云フハ即チ經濟的利益デアル。要スルニ社會階級ノ別ハ一定ノ社會の環境内ニ於ケル經濟的差別ヲ表現スルモノデアル。サレバ露西亞ノ社會的進歩ハ偉人ニ依リテ行ハレルモノデモ、亦みゝる制度ヲ保持スル事ニ依テ成就サレルモノデモナイ。夫レハ只資本主義的生産ノ媒介ニヨリテノミ得ラレル經濟的餘剰ノ増加ト、今ヨリモ一層平等ナル富ノ分配トニ依リテ行ハレルモノデアル。資本主義ハ畜ニ生産物ヲ社會化スルノミナラズ、又生産者ヲモ社會化スルモノデアル。資本主義ハ人間ノ箇人の生存ヲ、無數ノ糸ニヨリテ社會有機體ノ全體ニ結び付ケルコトニヨリテ、人間ヲ眞實ニ社會的ナル實在物ニ化成スルノデアル。

夫レ大規模ノ生産ハ多數ノ消費者ヲ要求スルモノニシテ、而シテ夫レガ爲メニ社會改良ノ途ヲ備ヘ、又民衆ニ彼等ノ生存條件ニ彼等自身ヲ意識的ニ結び付ケルコトヲ教ヘテ彼等ヲ組織スルモノデアル。併シ此ノ如クニシテ得ラルル經濟的進歩ノ心理的社會的結果ハ、又經濟的及ビ社會的進

歩ノ全潮流ニ於テ新シキ因素トナル。要スルニ資本主義ハ單ニ主觀的倫理的見地ノミヨリ見レバ勞働者ヲ使役シ彼等ノ利益ヲ絞取ルコトヲ目的トスル恐ロシキ制度デアル様ニ思ハレルガ、併シ客觀的ニ見レバ、又社會ノ生産力ヲ増進スル爲メノ一ノ重要ナル手段デアルノデアル。サレバ資本主義ハ單ニ一ノ害惡タルニ止マルモノデナクシテ、又文化的進歩ノ一ノ有力ナル因素デアル。單ニ一ノ破壊的因素タルニ止マルモノデナクシテ、又一ノ創造的ナ力デアルノデアル。

すつる一瞥ニハ彼ノ思想發達ノ第一期、即チ正統派まりくす主義ヲ遵奉スル時代ニハ、以上述ベシガ如キ說ヲ唱ヘテ、以テまりくす主義ノ眞理ヲ論證セント努メテ居ツタノデアルガ、然ルニ數年ノ後修正派新まりくす主義ヲ唱フルニ至ツテ、右ノ思想ハ到底保持シ得可カラザルモノトシテ、斷然之ヲ放棄シタノデアル。然フバ彼ノ新まりくす主義ナルモノハ、如何ナルモノデアルカ。是レ余ガ本論文ニ於テ特ニ論究セントスル問題ニシテ、是レヨリ其ノ論究ニ移ルコトスル。

今すつる一瞥ニハ第二期ノ思想ヲ最モ能ク發揮スルト云ハルル「まりくす社會發達說」ニ於テハ、彼ハ特ニまりくす社會發達說ヲ捕ヘ、「一方ニ於テハ其ノ前定思想或ハ其ノ根柢トスル思想ハ果シテ簡別的ナル社會の經驗ニ適合スルヤ否ヤト云フ見地カラ之ヲ批判的ニ考察シ、又他方ニ於テハ、該說ハ其ノ論理的概念的仕組ニ於テ、吾人ノ經驗ノ全體ノ中ニ無理ヲセズニ正當ニ攝取シ得ラルルモノナルヤ否ヤト云フ見地カラ之ヲ批判的ニ考察セント」企ダテテ居ルノデアル。即チまりくす社會發達說ハ、其ノ根柢トスル事實或ハ思想ニ於テ現實ナル事實ニ適合シテ居ル

カ、又其ノ論理的構造ニ於テ認識論上正當デアルカト云フ問題ヲ起シテ、之ヲ批判的ニ考察シテ居ルノデアル。併シ實際ニ於テ彼ノ批評ハまゝとるくす主義ノ根本思想ノ殆ンド總テニ及ンデ居ルト思フ。

却説するところ、尤も考フル處ニヨレバ、まゐるくすノ近世社會發達説ノ基礎トナツテ居ル三種ノ事實或ハ事實ノ部類ガアル。一ハふるるじやあノ支配ノ下ニ、又無規律ナル競争經濟ノ形態ニ於テ、資本主義時代ニ於ケル社會ノ生産力ガ發達シテ居ルト云フコト、即チ生産ノ社會化及ビ集中ノ説、并ニ資本主義社會ニ於ケル生産無規律ノ説ト稱セラルモノ、Theorie der Vergesellschaftung und Konzentration der Produktion und Theorie der Produktionsanarchie in der kapitalistischen Gesellschaft 一ハ資本主義的發達ノ進行中ニ於テ下等人民階級ガ愈々社會的ニ壓搾サルルコト、及ビ中等階級ガ衰微スルコト、即チ困窮化説及ビ大資本家ガ小資本家ヲ壓倒スルト云フ説、Verelendungstheorie und die Theorie der Expropriation der kleinen Kapitalisten durch die grossen. 三ハ革命的ふるれたりあつガ出現シ、而シテ彼等ノ革命的運動ハ共產主義ヲ理想トシテ發達シ行クコト、ツマリふるれたりあつガ益々貧窮化スルガ、併シ夫レト同時ニ社會的及ビ政治的ニ發達シテ實力ヲ得、而シテ活潑ナル階級闘争ニヨリテ資本主義的組織ヲ破壊シ、社會主義的組織ヲ以テ之レニ代ユルニ至ルコト、即チ資本主義ノ發達ニヨリテ造ラレ、又其ノ發達ノ進行中ニ増長シ行クふるれたりあつの社會的使命ノ説、Die Theorie von der Sozialistischen Mission des durch die kapitalistischen Entwicklung geschaffenen und in ihrem Fortgang anwachsenden Proletariates.

まゐるくすハ右ノ三種ノ事實部類或ハ發達傾向ヲ總括シテ、彼ノ社會發達說ヲ作り上ゲタノデアルガ、今其等三種ノ事實部類ハ其中ニ含マルル彼ノ社會主義的解釋ヲ除キ去テ見レハ、確カニ其ノ時代ノ現實ナル生活ニ於テ觀察シ得ラレシモノニシテ、而シテ其ノ點ニ於テ彼ノ社會發達說ハ完全ニ現實主義的ナルモノデアツテ、決シテ純觀念的ナ假作物デナイ。併シ彼ガ之レニ加ヘタル社會主義的解釋、即チ其等ノ事實部類或ハ發達傾向ハ自然ニ或ハ必然的ニ社會主義ヲ產ミ出シ之ヲ圓熟サセル可キモノト見ル解釋ハ果シテ正當デアラウカ。まゐるくすノ考フル處ニヨレバ、社會主義ハ生産手段ノ社會的所有ヲ基礎トシテ生産ヲ社會化スルコト、及ビ階級支配ノ一切ノ形態ヲ廢止スルコトヲ意味スルモノデアアル。而シテ客觀的社會化ハ生産力及ビ生産關係ノ發達ニヨリテ必然的ニ行ハレ、競争經濟ノ無政府の性質ハ此ノ社會化サレタル生産トハ到底調和シ難クナル。此ノ際一方ニ於テハ多數民衆即チぶろれたりあつノ困窮化ト、中等階級ガ段々ぶろれたりあつノ中ニ落下スルコトニヨリテ、又他方ニ於テハぶろれたりあつガ其ノ生存競争ニ於テ受クル訓練ニヨリテ、此ノ社會階級ニ於テ自カラ一定ノ主觀的因素ガ發達シ、而シテ此ノ主觀的因素ハ困窮ニヨルト同ジク自覺的意志ニヨリテ自カラ社會主義ニ進ミ社會主義的闘争ヲ遂行スルニ至ルモノデアアル。サレバ上ニ述ベシ客觀的發達傾向ハ、此ノ社會主義的闘争ヲ必然的ニ發達サセ、又其成勳ヲ當然齎ラスモノデアアル。

併シ千八百四十年代ニ於ケル右ノ三種ノ發達傾向ヲ此ノ如クニ解釋スルハ、果シテ正當デアラウカ。同年代ニ於ケル右ノ發達傾向ノ現實的性質ハ疑ハレナイ。(まゐるくすが之ヲドレホド正當

ニ理解シタカハ別問題デアルガ。併シ之ヲまゐるくすノ如クニ社會主義的ニ解釋スルニ於テハ其ノ解釋ハゆゑとびあひのデアルト云ハネバナラヌト思フ。同年代ニ於ケル社會的發達ノ與ヘラレタル事實の基礎ハ、まゐるくす自身ノ考ヘシ如クニ、夫レヨリ社會主義ヲ現實主義的ニ引キ出スヲ許サナイト思フ。隨フテ強イテ之ヲ引キ出サントセルまゐるくすノ解釋ハ、モハヤ現實主義的デハナク、ゆゑとびあひのトナツテ居ルト思ハレルノデアアル。而シテ此ノ事ヲ十分ニ理解スル爲メニハ、吾人ハまゐるくすニアリテハ、社會主義ハ文化ノ精華ヲ意味スルモノナルコトヲ記憶シテ居ラネバナラヌ。彼ハぶゝるじゆあノ一切ノ文化的獲得物或ハ生産物ヲ社會主義ノ中ニ攝取セントシタノデアアル。併シ多數民衆ノ進歩的困窮化ガ爭フ可カラザル事實デアリ、又夫レガ資本主義的經濟組織ノ不變的ナル内含的傾向デアルトシテ觀念サルル以上ハ、ぶゝるじゆあ社會ノ一切ノ文化の進歩ヲ繼承シ、更ニ之ヲ益々發達サス可キモノト考ヘラルルガ如キ社會主義ハ、全ク有リ得可カラザルモノデハナイカ。勞働者階級ガ愈々困窮化スルト云フコトト、彼等ガ益々社會政策的ニ成熟シテ吾人ノ考ヘ得ラルル最トモ深大ナル社會的改造ヲ實行スル力ヲ獲得スルト云フ事トハ現實主義的ニ考察スル以上ハ、全ク兩立シ得難キモノデハナイカ。千八百四十年代ノ事實上ノ社會的發達ハ、若シ其ノぶゝるれたりあつテ壓搾スル傾向ガ不變的ニ持續サルルモノトスレバ、事實の基礎ノ上ニハ如何ナル社會的樂觀主義ヲモ建設スルヲ許サナカッタノデアアル。然ルニまゐるくすハ之ヲ敢アシタノデアアルカラ、彼ノ社會主義ハ當時ノ社會的發達ノ事實ニ基ツキテ現實主義的ニ組み立テラレタモノト云フ事ハ出來ナイ。要スルニ公産主義的ナル經濟的組織ノ歴史の必然性

ヲ證明セントスル念ニ驅ラレテ、社會主義者タルまゝるくすハ不充分ト云フヨリモ以下ナル前提ヨリシテ、彼ノ社會主義ヲ主觀的ニ演繹シタノデアル。其後まゝるくすハ實際ノ事實ニ迫ラレテ、實質的ニハ彼ノ悲觀的前提ヲ變更シテ居ル。而モ彼ハ嘗テ之ヲ意識的ニ又明白ニ放棄シナカッタ。而シテ彼ハ困窮化ト社會主義ヘノ發達トノ間ニ深大ナル實質的衝突或ハ反對ノ存在スルヲ意識シナカッタノデアル。否ナ彼ハ此ノ實質的ナル衝突或ハ反對ヲ以テ結局自然ニ除去セラルル當然ナル論理的概念的即チ辨證法的反對デアルト考ヘ、ヘーゲルノ說ニ從フテ又此ノ反對ヲ運動或ハ發達ノ原動力ト認メタノデアル。此クテまゝるくすノ社會發達說ヲ根本的ニ批評スル爲メニハ、吾人ハ反對或ハ衝突ノ高マルコトニヨリテ發達ガ行ハルルモノト考ヘル說、Die Lehre von der Entwicklung durch Steigerung der Widerspruch ヲ考察シ、夫レガ果シテ正當デアルヤ否ヤヲ究明セネバナラス。今まゝるくすハ反對ニヨリテ發達スルト云フコトヲ、如何ナル意味ニ解シテ居ツタカト云フニツマリ相反對スルニ要素ガ其ノ相反對スルコトニヨリテ相並ンデ、又相互ニ他ノ影響ヲ受ケツツ愈々其ノ力ヲ増大シ、而シテ其ノ反對ガ愈々強マリ、遂ニ一ガ他ヲ全ク壓倒スルニ至ルト云フ意味ニ解シテ居ツタト思フ。併シ是レハ反對ニヨリテ發達スルト云フ事ノ唯一ノ意味デハナイ。ソウ考ヘタノハまゝるくすノ獨斷的謬見デアル。吾人ハ反對ニヨリテ發達スルト云フコトヲ、又反對スルニ要素ノ一ガ他ニ及ボス影響ニヨリテ或程度マデハ他ヲ強メ、隨フテ兩者ノ反對ガ愈々強マルガ、併シ其ノ程度ヲ越ユレバ却テ他ヲ弱メル、而シテ兩者ノ反對ハ益々強マルコトデハナク、却テ愈々弱ハリ或ハ鈍ルコトニヨリテ遂ニ終結ヲ告ゲ、一ガ全ク他ヲ壓倒スルニ至ルト云フ意味

ニモ解スルコトガ出來ル。更ニ吾人ハ只相互ニ強マルトカ、弱ハルトカ云フ兩者ノ分量的相互關係ニヨリテ反對ノ結着ヲ考ヘ得ルバカリデナク、兩者ノ性質上ノ相互關係ニヨリテ之ヲ考フルコトモ出來ルノデアル。即チ反對スルニ現象ガ段々相互ニ他ニ適應シ、而シテ夫レニヨリテ本質上以前トハ異ナレルモノトナリテ、茲ニ反對ハ全ク終結スルコトモアリ得ルノデアル。

茲ニ吾人ハ反對の發達ノ觀念(即チ反對ニヨリテ發達スルト云フ觀念、以下便宜上簡單ニ反對の發達ノ觀念ト云フ)ヲ特ニまゐるくすノ唯物史觀說ノ根本觀念ニ結ビ付ケテ考察シ、彼ノ反對の社會發達說ノ眞義ヲ批判シテ見ヤウト思フガ、夫レまゐるくすノ唯物史觀說ニ於テハ、法律及ビ政治的制度ガ絶ヘズ經濟ニ順應スルコトヲ以テ、彼等ノ關係ノ順當の形態ト觀念セラレ、之レニ反シテ經濟の關係ト法律の關係トカ相分離スルコトヲ以テ彼等ノ反對ト觀念サレテ居ル。而シテ此ノ反對ハ法律ガ經濟ニ順應スルコトヲ強制スルモノト考ヘラレテ居ル。まゐるくすハ生産力ト生産關係即チ財產關係トノ反對ヲ社會の反對ノ根本のナルモノ、社會の革命ノ形式ト認メ、而シテ後者ガ前者ニ順應スルコトヲ以テ社會の革命ノ内容ト見タノデアル。要スルニまゐるくすノ社會發達說ニ於テハ、經濟ト法律トノ關係ガ其ノ中核トナツテ居ル。而シテ彼ハ經濟ヲ以テ原因ト觀念シ、法律ヲ以テ結果ト觀念シタノデアル。然ルニ經濟ト法律トノ關係ヲ此ノ如クニ觀念スルコトニ就テハ種々ナル異論ガ起リ得ル。而シテ是レ實ニ社會學上ノ重大ナル問題デアツテ、まゐるくすノ社會發達說ノ根本問題デアル。ソレデ茲ニハ此ノ問題ヨリ出發シテまゐるくすノ反對の社會發達說ノ骨髓ヲ論評シテ見ヤウト思フ。

今しゆたむらトハ有名ナル彼ノ著作「經濟ト法律」ニ於テ、右ノまゐるくすノ思想ヲ批評シ、兩者ノ關係ヲ因果ノ關係或ハ Bewirkende ト Bewirkte トノ關係ト見ルハ論理的ニ穩當デナク、夫レハ形式ト内容トノ關係ト見ル可キモノ、即チ法律ハ形式ニシテ經濟ハ内容デアルト見ル可キモノト論ジテ居ル。而シテしゆたむら一ノ右ノ思想ハ或意味ニ於テハ正當デアルト思ハレル。而モ彼ハ先ヅ箇々ノ經濟的要素ト箇々ノ法律的要素トノ非常ニ多種多樣ナル關係ヲ、「制約スル形式」ト「規制サレタル實質」ト云フ簡單ナル公式中ニ悉ク推シ込メントスルコトニ於テ誤マツテ居ルト思フ。次ニ法律的規制ト云フ條件ヨリ獨立セル社會經濟的行爲ハ全く不可能デアルト見ルニ於テ誤ツテ居ル。更ニ箇別的ナル經濟的要素ト箇別的ナル法律的要素トノ間ニモ、全ク發生の因果關係ガ存在シナイト見ルニ於テ誤ツテ居ル。尙ホしゆたむら一ハ經濟現象ハ法律關係デアルト云フ見解ヨリシテ、一定ノ社會組織内ニ於テ自カラ生起スル現象ト現在ノ法制ノ變更ヲ目的トスル努力トヲ判然區別ス可キモノト考フルニ於テ誤ツテ居ル。要スルニしゆたむら一ノ説ヲまゐるくすノ説ニ比較シテ考ヘテ見ルト、しゆたむら一ハ一定ノ社會組織内ニ於ケル經濟的現象ト法律的條件トノ衝突或ハ反對ヲ概念的ニ否定シ、只社會組織全體ト之ヲ變更セントスル努力トノ衝突或ハ反對ダケヲ認メルノデアルガ、まゐるくすハ之レニ反シテ、しゆたむら一ノ排斥セル第一種ノ反對ヲ認メ且ツ之ヲ以テ與ヘラレタル社會組織ト根本的ニ之ヲ破壊セントスル社會的運動トノ反對ガ、發展シ行ク現實ナル地盤ト見テ居ルコトガ發見サレルノデアル。併シ兩者ノ差異ハ之ヲ概念的抽象の形態ニ於テ考察スル場合ニ相像サレルホド、實質ニ於テ大ナルモノデナイ。蓋シしゆたむら

一モ矢張り現在ノ社會組織ニ反對スル運動ハ「與ヘラレタル社會的關係」ヨリ發生スルモノト考ヘテ居ルカラデアル。而シテ兩者ニ於テ社會的革命ノ觀念ハ同様ニ重要ナル地位ヲ占メテ居ルノデアル併シ現實ナル事實ニ照ラシテ考察シテ見ルト、何レノ社會的革命ノ觀念モ穩當デナイ。

夫レ現實ナル社會ニ於テハ、法律ト經濟トノ絶對的反對ガ行ハレテ居ラネバ又兩者ノ絶對的調和モ行ハレテ居ラナイ、而シテ現實ニ行ハレテ居ルモノハ、只經濟現象ト法律現象トノ絶ヘザル部分的衝突及ビ適應デアル。又此等ノ部分的衝突及ビ適應ニ於テ、且ツ之レニヨリテ社會ハ轉化シ發達シテ居ルノデアル。併シ經濟現象ト之ヲ規制スル法律の規範トノ關係ニ就テハ、發生的方面ヨリ見レバ前者ガ第一位ヲ占ムル事ハ疑ハレナイ事實デアルト思フ。是レ兩者ノ根本的差異カラ考ヘテ當然デアル。實質タル經濟ハ法律の規制ナクトモヨク存在スルヲ得、且ツ一定ノ社會的重要ヲ有スルコトガ出來ル。併シ形式タル法律ハ若シ何等ノ實質ヲモ伴ハナイ時ニハ、只紙上ノ存在ヲ有スルニ過ギナイ。而シテ實際上此ノ如キ法律ハ少ナクナイノデアル。サレバ經濟ヲ以テ原因ト考ヘ法律ヲ以テ結果ト見ル點ニ於テ、唯物史觀說ハ單純デアアルガ、而モ重大ナル眞理ヲ教ユルモノデアアル。

今社會進化ノ眞相ハ上ニ述ベシガ如キモノデアルトスレバ、まゝるくすノ革命觀念ト同ジクシゆたむらゝノ革命觀念モ亦穩當デナイコトガ理解サレル。社會經濟ト法律トノ適應ハ一瞬間モ停止セズニ進ンデ行ク。經濟現象ノ發達ハ舊ニ當代ノ社會組織ノ型ノ内ニ於テ行ハルルノミナラズ更ニ此ノ型ヲ轉化セシメ、又之ヲ擴大スルノデアアル。しゆたらむゝノ考フル如ク、社會運動ノ異

質のナル二種ノ形式、即チ一定ノ社會組織内ニ自然ニ行ハルル運動ト、當代ノ社會組織ヲ變更シ、又ハ之ヲ破壊セントスル運動トガアルノデハナク、只一ノ形式ガアルノミデアル。即チ社會經濟的現象ニ對スル法律的規範ノ適應ガアルノミデアル。而シテ此ノ適應ト結ヒ付テ又種々様々ナル社會的努力ガ發達スルノデアル。

然ルニまゝるくす派ノ學者ハ、其ノ後社會革命ノ觀念ヲ愈々嚴格ニ社會改良ノ觀念ヨリ區別シ社會主義ヘノ眞ノ進歩ハ只社會革命ニヨリテノミ行ハルルモノト見ル主張ヲ益々高調シテ居ル。併シ夫レハ理論的智識即チ因果的發生的の説明ノ見地カラ見レバ全ク誤ツテ居ル。茲ニ此ノ事ヲ辯ジテ彼等ノ革命的社會發達說ノ謬妄ヲ益々明白ニスルト同時ニ社會發達ノ眞義ノ一面ヲ闡明シテ見ヤウ。

抑々社會革命ナルモノハ、單ニ社會組織ノ部分的改造ヲ意味スルモノニ非ラズシテ、其ノ全體的改造ヲ意味スルモノデアルトスレバ、上ニ述ベシ處ニヨリテ察知セラルル如ク、夫レハ決シテ一度ニ完成スルモノデナク、永イ永イ年月ヲ經テ始メテ成就スルモノデアル。即チ反對ノ強マルコト、弱ハルコト及ビ中和的ニ適應スルコト等ノ種々様々ナル方法ニヨリテ行ハルル甚ダ複雑ナ、隨フテ多クノ年月ヲ經テ進ミ行ク過程デアル。併シ此ノ如キ社會改造ノ過程ハ現代ノ思想カラ云ヘバ進化ニ外ナラス。サレバ右ノ如キ意味ニテ云フ社會革命ナルモノハ、ツマリ社會進化ノ異名ニ過ギナイノデ何等新シキ觀念デハナイ。而シテまゝるくすノ云フガ如キ社會革命、即チ「要素ノ反對ガ益々強マルコトニヨリテ、遂ニ俄然其ノ一ガ全ク他ヲ壓倒スルニ至ルト云フガ如キ方

法ハ、精々ノ處デ複雑ナル進化過程ノ一部分ヲナスニ過ギナイ。又全ク他ノ方法ヨリ獨立シテ行ハルルモノデナク、之レト種々ニ混交ジテ進ミ行クモノデアル。要スルニ内容ノ上カラ見テ社會組織ノ全體の改造ヲ意味スル社會革命ト、方法ノ上カラ見テ反對ノ強マルコトニヨリテ行ハルト云ハルル社會革命トハ、全然一致スルモノデナク、後者ハ前者ノ遂行サルル一ノ方法ニ過ギナイノデ、而シテ前者ガ完成スル爲メニハ後者以外ノ幾多ノ方法ガ必要デアル。社會改良ノ如キハ即チ其ノ一デアル。尙ホ社會的闘争ニ於ケル勝利ハ、愈々強マレル反對ノ決戰の勝敗ニヨリテ得ラルルヨリハ、反對ノ漸次的減弱ニヨリテ得ラルル場合ノ方ガ遙カニ多イノデアル。而シテ此ノ事實ハまゝゝるくす派ノ學者モ實際ノ經驗ニヨリテ段々理解シテ來タガ、而モ彼等ハ尙ホまゝゝるくすノ社會革命ノ觀念ヲ保持シ、且ツ現實ナル事實ニヨリテ證明スルコトノ困難ヲ覺ツテ之ヲ哲學的ニ論證セント企ダテテ居ル。然ラバ其ノ哲學的根據トナスハ如何ナル思想デアルカト云フニ、是レ即チ單ニ分量的ナル變化ガ新シキ性質ニ轉化スルコト云フ思想デアル。而シテ彼等ハ此ノ思想ニ一種ノ神秘的辨證の説明力ヲ認メテ居ル。併シ此ノ思想ノ眞義ハ、之ヲ深く認識論的ニ考究スルト、決シテ彼等ガ皮想的ニ解スルガ如キモノデナイコトガ發見サレルノデアル。

夫レ直接ニ與ヘラレタル性質變化 *die Qualitätsveränderung* ハ認識論的問題デナク、認識論の問題トナルハ其ノ性質變化ヲ如何ニシテ同一「物」ノ變化トシテ理解ス可キカト云フコトデアル。今同一「物」ノ性質變化ハ只一定ノ條件ノ下ニ於テノミ考ヘ得ラルルモノデアル。而シテ其等ノ條件中ニテ最トモ根本的ナルモノハ因果的關係デアルガ、尙ホ之ト同様ニ重要ナルハ變化ノ證明サレ

タル又ハ前定サレタル連續性デアル。die ererbene oder vorausgesetzte Stetigkeit der Veränderung. 此ノ「一切ノ變化ノ連續性ノ法則」ハヘーゲルのニ考フルまゝるくす派學者ガ、無意味ナ冗言デア
ル如クニ見做シテ居ルガ、決シテツウデナイ。是レ實ニかんとノ力說セル認識論上甚ダ重要ナル
觀念デアアルノデアアル。而シテ彼等ノ考フルガ如キ社會革命說ガ認識論上正當ナラズシテ、進化主
義ノ正當ナル所以ヲ證明スルモノハ、實ニ此ノ觀念デアアル。「一切ノ變化ノ連續性」ト云フ觀念ハ
吾人ガ其ノ變化ヲ理解スル爲メニ必要缺ク可カラザル認識論的及ビ心理學的公準デアアル。此等ノ
理ヲヨク會得スルトキハ、吾人ハ一ノ獨立ナル理論的概念トシテ革命ノ概念ノ認識論上維持サレ
難キ所以ト、又進化ノ概念ノ根本的重要トヲ明カニ理解スルコトガ出來ルノデアアル。而シテ「分
量ガ性質ニ轉化スル」ト云フ觀念ハ、ツマリ連續的ノモノ及ビ測定シ得ラルルモノトシテノ「同
一」物ノ根本的變化ヲ特質ツケル爲メノ、他ノ論理的云ヒ表ハシ方ニ外ナラヌコトガ理解サレル。
「分量ガ性質ニ轉化スル」ト云フ事ハ決シテまゝるくす派學者ノ考フル如ク飛躍的ナル轉化ヲ意味
スルモノニ非ラズシテ、連續的ナル變化ノ自然的結果ヲ意味スルモノデアアル。サレバ資本主義ヨ
リ社會主義ヘノ轉移ガ、必然的ノモノトシテ證明サルル爲メニハ、吾人ハ此ノ轉移ヲ正反對ノ一
極端ヨリ他ノ極端ヘノ轉變ト解シテハナラス、而シテ之ヲ社會ノ連續的及ビ因果的ニ進行スル變
化トシテ解セネバナラナイノデアアル。資本主義ト社會主義トハ全ク正反對ノモノニシテ、兩者ノ
間ニハ何等ノ連絡ガナイト觀念スル以上ハ、前者ヨリ後者ヘノ轉移ハ認識論上ニ於テモ現實的
狀態ニ於テモ全ク不可能トナルノデアアル。社會主義ト資本主義トハ本質的ニ相異ナレルモノ或ハ

正反對ノモノニシテ、隨フテ資本主義ノ型ノ内ニ於テハ社會主義ガ發達シ、又前者ノ手ニヨリテ後者ヲ實現スルコトハ全ク不可能デアルト見ルニ於テハ、社會主義ノ歴史の必然性及ビ可能ハ認識論上又發達史的考察上正當ニハ全然認め得ラレナイコトニナル。而シテ若シ此ノ不可能ヲ強テ行ハントスルニ於テハ何等カノ社會的奇蹟ヲ假定シナケレバナラヌ。恐クハまゐるくす派ノ學者モ無意識的ニ此ノ理ヲ悟リ、此クテ其ノ内含の創造力ニヨリテ「分量ヲ性質ニ轉化サセル」ト云フ神秘的ナル社會革命ノ觀念ヲ立テ、其ノ功德ヲ仰ガントスルノデアラウト思ハレル。併シ其處ニ奇妙ナル矛盾ガ含マレテ居ル。ト云フノハ、「分量ヲ性質ニ轉化スル」ト云フコトハ、認識論上正當ニ解スレバ上ニ述ベシ如ク、一ヨリ他ヘノ連續的變化ヲ意味スルモノニシテ、全ク本質ヲ異ニスルモノノ間ニハ行ハレ難キモノデアルカラデアル。若シ資本主義ト社會主義トガ其ノ本質上正反對ナルモノデアルトスレバ「分量ヲ性質ニ轉化スル」ト云フ原理ニヨリテ、前者ヨリ後者ヘノ必然的轉移ヲ證明スルコトハ全ク不可能トナルノデアアル。要スルニ資本主義ト社會主義トハ全ク其ノ本質ヲ異ニスルモノニシテ、而シテ社會革命ニヨリテ必然的ニ前者ガ後者ヘ轉化スルモノト見ルまゐるくす派ノ思想ハ、決シテ彼等ノ考フル如ク現實主義的科學的ナモノデナクシテ、一種ノゆゑとびあひ的思想デアアル。現實ニアリ得可カラザルコトヲ、社會革命ト云フ神秘的觀念ニヨリテ實現セントスルモノデアアル。

吾人ハ以上述ベシカ如クニ考察シテ、まゐるくす派ノ社會革命說ハ認識論上ヨリ見レバ種々ナル矛盾ヤ空想ヲ含ムモノニシテ、決シテ正當ナ思想デナイコトヲ理解スルノデアアル。併シ是レカ

爲メニ資本主義ハ必然的ニ社會主義ニ轉化スルト云フまゝるく思想ノ根本原理ヲ否定セントスルノデハナイ。否ナ之レニ反シテ其ノ真理ヲ正當ニ發揮セントスルノデアル。要スルニ社會主義ノ必然性ハ、資本主義的社會組織ヲ忽然社會主義的社會組織ニ轉變スルモノト考ヘラレルガ如キ社會革命ノ奇蹟ニヨリテ證明サレルノデハナク、只資本主義的社會内ニ於ケル經濟的現象并ニ其ノ法律的規制ノ連續的發達ニヨリテ證明サレルノデアル。眞實ナル力トシテノ社會主義ハ眞實ナル資本主義的社會内ニ於テ發達スルモノト考ヘラレネバナラス。然ラザレバ何處ニモ存在シ得ナイモノトナル。社會主義ヲ歷史的ニ考察シ、其ノ發達ノ必然性ヲ正當ニ理解セントスルニ於テハ、吾人ハ資本主義ト社會主義トハ全ク其ノ本質ヲ異ニスル全然相互排他的ノモノデアルト云フまゝるくす派ノ思想ヲ、斷然放棄セネバナナイノデアル。尙ホ右ノ思想ハまゝるくす派學者ヲシテ現實ニ行ハルル階級闘爭ノ意義ヲ誤解セシメテ居ルコトニ注意スルコトガ肝要デアルト思フ。

今資本主義的社會ノ漸次的社會主義化ヲ不可能ト見ル彼等ハ、現實ニ資本主義的社會内ニ於テ又其ノ前提ノ下ニ、且ツ其ノ手段ヲ利用シテ發達シツツアル現實ナル經濟的及ビ政治的闘爭ヲ以テ、社會革命ノ最後ノ大打撃ニ對スルふるれたりあつノ精神的及ビ政治的訓練ニ外ナラスト考ヘテ居ル。此クテ彼等ノ見解ニ從ヘバ、日々行ハルル階級闘爭ハ夫レ自身ニ於テハ何等ノ内容ヲモ有シナイ一種ノ準備手段トナリ、現實ナル生活トノ生キタル連絡ヲ全ク有シナイモノトナツテ仕舞フテ居ル。併シ現實主義或ハ進化主義ノ見地カラ見レバ、階級闘爭ハ決シテ右ノ如キ價值ノ少クナイモノデハナイコトガ理解サレルノデアル。階級闘爭ハ一ノ理想的力量デアルト同時ニ又一ノ

現實の力デアル、夫レハぶろれたりあつノ勢力發展ノ道具デアルト共ニ又其ノ表現デアル。此ノ階級闘争ノ眞義ハ資本主義社會ノ漸次的社會主義化ヲ否定シ、資本主義ヨリ社會主義ヘノ轉化ハ、只階級闘争及ヒ階級反對ガ無限ニ強マリ其ノ頂上ニ達シテ社會革命ガ勃發スルコトニヨリテノミ成就シ得ルモノト信ジテ居ルまゝるくす學者ノ到底觀破シ得ナイモノデアル。吾人ノ見ル處ニヨレバ、資本主義社會ノ漸次的社會主義化ハぶろれたりあつノ勢力ガ段々増大シ、彼等ノ社會改良的活動ガ段々發達スルニ從フテ、階級的反對ガ漸次ニ弱ハリ、遂ニ全ク消滅スルコトニヨリテ成就スルモノデアル。尙ホ茲ニ辨證法ト進化ノ原理トノ關係ヲ少シク論ジテ置クコトガ必要デアル。夫レ辨證法ハ本體論ニ導ク論理學ノ一方法ニ外ナラヌモノニシテ、現實主義ノ進化ノ原理ト同一視サル可キモノデナイ。サレバ社會進化ト辨證法トハ共通ノ何物ヲモ有シナイノデ、兩者ノ同一視スルハ只現實ナル問題ト抽象のナ論理的細工トヲ混同セシメル結果ヲ生ズルノミデアル。資本主義ト社會主義トハ本質的ニ相異ナレル正反對ノ概念ト見做シ、更ニ兩者ヲ全ク正反對ナルニケノ本體的實在ノ如クニ見做スまゝるくす派ノ謬見ハ、全ク社會進化ノ真相ヲ辨證法ト見ル根本的謬見ノ結果デアル。

今之レマデ論ジ來リシ如ク、まゝるくす派ノ社會革命說或ハ瓦解說ハ論理的概念的ニハ到底保持サレ難イ思想デアルガ、更ニ現實主義の見地カラ見ルモ、之ヲ徹底的ニ突き込ンデ行クト矢張り保持サレ難キモノトナルノデアル。先ヅ瓦解說ノ經驗的基礎トナツテ居ルモノハ、サキニ述ベシ如ク、資本主義的發達ノ進ムニツレテ民衆ハマスマ困窮化スルト云フ事デアル。併シ此レハ其後ノ社會的發達ノ事實ニヨリテ否定サレテ居ル。勞働者ノ經濟的及ビ政治的勢力ノ益々發展

シテ來テ居ルコトハ、何ヨリモ明白ニ困窮化説ノ誤謬ヲ暴露シテ居ルノデアル。サレバ其ノ後まゝゝるくす派ノ學者ハ全ク之ヲ放棄スルカ又ハ之ヲ新シキ意味ニテ解釋セント企テテ居ル。即チ勞働者階級ノ困窮化ト云フハ、絶對的ナ意味デ解ス可キモノデナク、相對的ナ意味デ解ス可キモノデアルト云フ見解ヲ立テテ居ル。併シ此ノ新解釋モ正當デナイ。勞銀ノ上カラ見ルモ亦勞働時間ノ上カラ見ルモ、勞働者ハ決シテ相對的ニモ益々困窮化シツツアルトハ云ハレナイ。

尙ホ社會革命説或ハ瓦解説ニ就テ重大ナル問題ガアル。夫レハ資本主義的社會ノ大瓦解大破滅ハ眞實ニ社會主義ノ勝利ヲ意味スルデアラウカト云フ問題デアル。夫レ世界の市場ノ發達ノ結果トシテ資本主義的社會ガ瓦解スルト云フ事ガ現實ナル或物トシテ考ヘラレル爲メニハ、夫レハ一ノ客觀的ナ「物質的」基礎ヲ前提トセネハナラス。まゝゝるくす及ビえんげるすハ實際ニ於テ常ニ一ノ世界の恐慌、即チ既ニ發達セル、又益々發達ス可キ國際的分業ノ推移、隨フテ其崩壞ヲ考ヘテ居ツタガ、是レ彼等ノ見地カラ見レバ當然デアル。蓋シ資本主義的社會ノ破滅ハ、只此ノ如キ地盤ニ於テノミ、眞ニ考ヘ得ラルルモノデアルカラデアル。併シ問題ハカカル破滅、瓦解ニヨリテ社會主義ハ何カ得ル處ガアルカト云フ事デアル。若シ現實ニ瓦解ガ起リ、即チ市場或ハ販路ノ急性的又ハ慢性的的縮小ガ全ク不治ノモノトナルトスレバ、其ノ場合ニ最トモ大ナル害ヲ受ケ非常ナル困難ニ陷ルモノハ、社會主義ノ運載者、即チ工業的勞働者階級其物デハナイカ。例ヘハ獨逸ニ於テ資本主義ガ俄カニ瓦解シタトスレバ、社會民主主義ハ忽チニ顛覆スルノデハナイカ。要スルニ資本主義瓦解説ハ其ノ現實基礎トスル困窮化説ノ上カラ見ルモ、亦市場縮小説カラ見ルモ、到底保持シ得ラレナイモノデアルノデアル。

却説まゝるくすノ社會主義ハ現實主義的科學的發達史的ニ建設サレタルモノトシテ見レハ、以上論ジ來リシ如ク何レノ方面カラ考フルモ到底保持ス可カラザルモノデアル。併シ實際的政治的見地カラ見レバ、即チ之ヲ社會的理想トシテ見レバドウデアルカト云フニ、總テ理想ハゆゑとびあデアラザルヲ得ナイ。而シテゆゑとびあハ科學ト矛盾シテハナラナイガ、併シ夫レ自身ノ存在權ヲ有スルモノデアル。夫レ自身、自律的デアリ得ルモノ、又アル可キモノデアル。而シテ人格者トシテ人間ノ努力ス可キ目的ヲ教ヘ、人格者トシテ人間ノ價值ヲ發揮セシムルモノデアル。只ゆゑとびあハ飽クマデモゆゑとびあニシテ科學デナイコトヲヨク會得シテ居ラネバナラヌ。ゆゑとびあヲ科學トシテ考ヘ又之ヲ唱フルハ大ナル謬見デアル。何人ニテモ、社會主義者トシテ感ズル人ニアリテハ、ゆゑとびあ的及ヒ革命的分子ハ現實的分子ト同様ニ貴重ナルモノ、否ナ夫ヨリモ一層貴重ナルモノデアル。而モ科學トシテ自己ヲ世ニ呈出スルゆゑとびあハ虚偽デアル。まゝるくす及ヒえんげるすがゆゑとびすとデアリ、革命家デアツタコトハ、彼等ノ人格的偉大ヲ作リ、又彼等ノ歴史の偉大ノ大ナル部分ヲ作レルモノデアル。併シ彼等ハ常ニ統一ヲ求メテ而モ決シテ之レニ達スルコトノ出來ナイ「ざいん」ト「ぞるれん」トヲ完全ニ統一セントスル大事業ヲ企ツルニ於テ失敗シタ、否ナ科學ノ人トシテ當然失敗シナケレバナラナカツタノデアル。而モ此ノ科學的ニ絶望的ナル努力ハ彼等ヲ活動ノ人トシテ大ニ高メタノデアル。終リニ特ニ高調シタキ事ガアル。夫レハ批判的まゝるくす主義ガ、其ノまゝるくす説ヲ健全ニ發達サセントスル努力ニ於テ、常ニ強固ナル足場ヲ失ハザラントスレバ、まゝるくす自身ノ現實主義の根本見解、即チ唯物的、一層正當ニ云ヘハ、經濟的歴史觀ノ上ニ立タネバナラヌト云フ事デアル。

却説すつるゝゞえノ思想發達ノ第二期ニ於ケル彼ノ新まりるくす主義ノ根本思想ハ、大體上是レマデ論述シ來レルガ如キモノデアルガ、夫レニヨリテ見レバ彼ハ段々ニまりるくす主義ノ立場ヲ離レテ來タコトガ推察シ得ラレル。而シテ結局彼ハドレホドまりるくす主義ヲ保持シテ居ツタカハ疑ハシクナルノデアルガ、尙ホ彼ハ右ノ如キ立場ニ永住シ得ザリシコトハ推察スルニ難クナイ。而シテ露國ノ革命運動ニ關スル彼ノ實際的經驗ハ、益々彼ヲシテ社會革命家ノ立場ヲ去リテ社會改良家ノ立場ニ進マシメタガ、千九百五年ノ革命後彼ハ遂ニ多數ノ修正派まりるくす主義者ト同ジク斷然社會黨ヲ去ツテ立憲民主黨ニ加入シ、茲ニ彼ノ思想ハ更ニ第二期ニ入ツタノデアル。其後彼ハ彼ノ社會論ヲ新シキ立場ニ適合スル様、改造セント企ダテ居ルガ、彼ノ第三期ノ思想ハ露國ノ現代社會思想發達史上別ニ重要ナル意義ヲ有スルモノデナイト思フカラ、茲ニ之ヲ特ニ説述スルコトハ避ケル而シテ只其ノ極一般ノ傾向ヲ簡單ニ一言スルニ止メルガ、彼ノ思想ハ近來益々理想主義的傾向ヲ強メ、更ニ神秘主義ノ傾向ヲモ表ハシテ居ル。彼ハ以前ノ主張トハ正反對ニ、社會進化ニ於ケル箇人ノ重要ヲ高調シ、社會ノ政治的完成ハ箇人ノ教育ニ依ツテ成就スルモノデアルト論ジ、更ニ露國ノ革命運動ノ失敗ハ根本的ニハ智識階級ニ於テ神ノ信仰ガ缺ケテ居ル事ニ基因スルトマデ極論シ、而シテ露國ノ指導等ガ益々高尚ナル理想ヲ抱キ彼等ノ道德ヲ改善センコトヲ切ニ勸告シテ居ル。要スルニ嘗テ有名ナリシまりるくす主義者ガ今ヤ自由主義、理想主義更ニ神秘主義ニ改宗シツツアルノデアル。而シテ立憲民主黨ノ思想家トシテ重要ナル地位ヲ占メツツアルノデアル。併シ昨年ノ大革命ノ際ニハ彼ハ如何ナル活動ヲ試ミタカ、又其ノ後何ヲ爲ツツ有カ。余輩ハ新聞紙上一向彼ノ名ヲ見ナイガ何レ其ノ中ニ彼ノ消息ヲ聞ク事ガアラウト思フ。